



写真で見る湘南の野鳥展

春季特別展開催中
平成4年4月28日
～5月30日

○レンズのとらえた野鳥の生態

私たちの身近にもいろいろな野鳥が生活しています。平塚市だけでも200種類近くの記録があるのです。翼をもって空を飛び回る野鳥は、長い渡りをする種類も多く、四季おりおりに私たちの回りに姿を見せます。こうした姿を見たり、声を聞いて楽しむことは、自然の中での魅力的な趣味の一つです。

今回の特別展では、写真を通してその素晴らしい野鳥達の世界へご案内します。

○写真は市民の協力で

展示される約100点の生態写真は、平塚市やその周辺に住む野鳥の会会員によって撮影されたものです。その方々の協力を得て引き伸ばしをすることができました。

○身近な野鳥にも謎がいっぱい

ふだん見慣れた鳥たちの世界にも、いろいろな謎がたくさんあります。

キジバトはもともと林の木に巣を作る種類でしたが、20～30年前から街路樹や庭木にもよく巣が見られるようになり、とうとう建物に巣を作るものも現われました。そうした変化がどうやって起こったのかは誰にもわ

かっていないのです。

またキジバトと同じ野生のハトであるアオバトは、海水を飲むという不思議な習性があり、大磯町の照ヶ崎海岸は1日に何百羽ものアオバトが渡来する場所として有名です。そのアオバトはおそらく丹沢から飛んで来ていると思われませんが、なぜそんな遠くまで海水を飲みに来るのかは謎に包まれています。

写真を見ながら、そんな野鳥の謎にも目を向けて下さい。

○全国野鳥保護の集いを協賛

バードウィークを中心に秦野市などを会場に全国的な野鳥保護の集いが開かれます。戦後バードウィークが制定されてから、早くも40年、今年のはそれを記念して展示会・コンサートなど多彩に行われます。博物館の特別展も、これを協賛するものです。これをきっかけに神奈川県野鳥保護が進むよう願ってやみません。

写真右：競輪場の建物に巣を作ったキジバト
写真左：海岸に飛んで来たアオバト

(臼井勝之氏撮影)

■特別展『写真でみる湘南の野鳥』

湘南地域に暮らす野鳥たちの生態を、豊富な写真を中心に紹介します。

会期中にはシンポジウム「湘南の野鳥」も開催され、湘南地域で野鳥の調査を行っているグループの方々に研究の成果を発表していただきます。

会 期：4月28日（火）～5月30日（土）

会 場：特別展示室

入 場：無料

シンポジウム

テーマ：湘南の野鳥

日 時：5月16日（土）

会 場：講堂

入 場：無料（申込不要）

■シンポジウム「湘南の野鳥」

開催日：5月16日（土）

時 間：午後2時～4時

内 容：大磯町照ヶ崎でアオバトの調査に取り組んでいるアオバト探検隊など、湘南地域で野鳥の調査を行っているグループの方々に研究の成果を発表して頂く会です。

干潟の鳥、公園の鳥など、いろいろな話題が取りあげられます。気軽にご参加下さい。

会 場：講 堂

入 場：無料（申込不要）